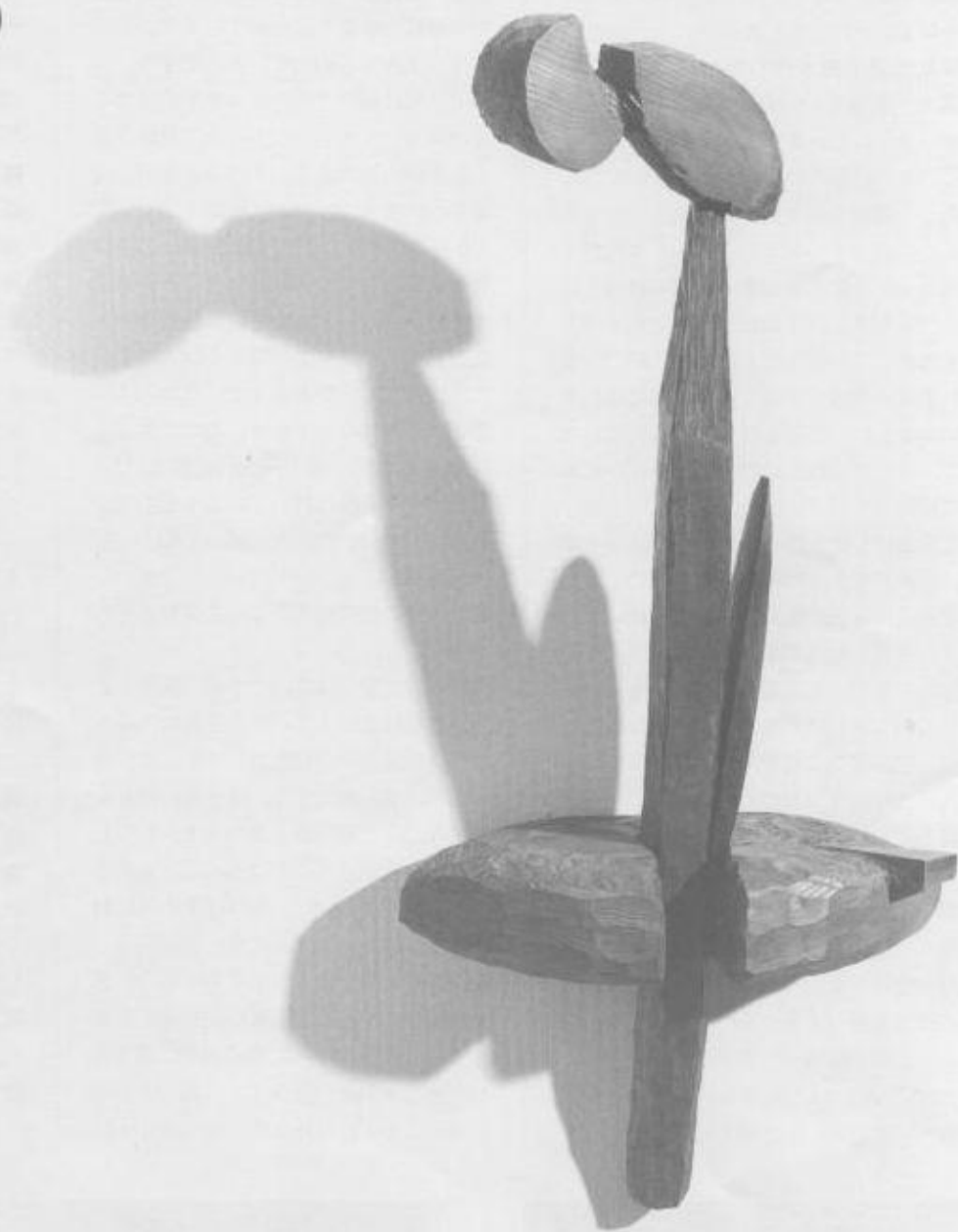


IP NEWS

インテリアプランナーニュース

1993.4 VOL. 5



- 特別企画：シリーズ「北海道の地域に根づく工芸を訪ねて」-3
- 一年間の活動を振り返って
- IP実施例
北海道IP協会賛助会員紹介
- IP合格者発表
見学会報告

彫刻「STAY-No.29」 H1,100

大橋篤司 おつし 東京芸術大学美術学部彫刻科卒業
東京芸術大学大学院美術研究科修了
作品写真提供/オフィス・メロウ（絵画・彫刻・工芸等、
道内芸術家の作品の企画・販売1000）札幌市北区北7条西2
丁目37山京ビル1007 TEL・FAX.011-756-2771

■特別企画——シリーズ「北海道の地域に根づく工芸を訪ねて」—3

北の藍染織工房 角 敏寛・寿子さん 千歳市新川827-90 ☎0123-21-2045

国道274号線で長沼を過ぎ、わずかな距離だけ千歳市に入る。その広大な雪原の中にポツンと建つ藍染織工房に角さんをお訪ねした。

角さん御夫妻は共同で藍染めをなさっていますが、御主人の敏寛さんは急用で札幌にお出かけになり、奥様の寿子さんに作品を見せていただきながら色々お話しをおうかがいしました。

■北海道の青を作りたい

湯上 北海道と藍染めはあまりなじみが無いように思います。角さんと藍染めはどのようにかわりがあるのでしょうか。

角 篠原さんと言う方がいらっしゃるんですが、そのおじいさんの先々代が北海道の伊達に入植なさって藍の栽培を始めたんです。代々栽培を続けており今でも出荷しているんです。私は札幌で生まれ帯広の高校を卒業し、広島県で染色を始めました。広島も魅力のある所でしたが、8年間染色を続けて、そろそろ北海道に帰ってもよいかと考えている時、北海道にも藍を作っている人が居ると聞いたんです。その方が篠原さんでした。北海道に帰って篠原さんの藍を使ってみようと思ったのです。藍は土壌が大きく作用します。北海道では又違った青が作れるのじゃないかなと思いました。それに、北海道には藍を本格的にやっている人はまだ居ませんでした。

湯上 徳島の藍が有名ですが、北海道の藍とは違うと聞いています。具体的にはどう違うのでしょうか。

角 植物の種類が全然異なります。徳島の藍は「タデ科」ですが北海道の自生の藍は大青（タイセイ）と言ってヨーロッパと同じ種類の「アブラナ科」です。大青には藍の成分が非常に少ないので相当の量ないと染まりません。でも篠原

さんの藍は「タデ科」で、徳島の藍と同じ種類です。

■藍は生きもの

湯上 藍は酒の醸造と似ていて大変な労力と神経が必要と言われています。どのような工程から始めているのですか。

角 私は篠原さんからスクモの状態を受け取り、カメの中にしこんで発酵させることから始まります。条件さえそろえば誰でも出来るのですが、藍は生きものですから維持することが大変で、最初の頃は藍が染まらなくて大騒動したこともあります。でも、ほっといても急に染まり出すこともあるんですよ。染め方は人によってもすごく差があります。だから人の意見は参考になりません。ただ、すごく良く染まるピークは1ヶ月位の間だけなのです。発酵は続いていても藍の成分（インディゴ）がだんだん減って藍の一生は終わります。

湯上 藍の色は地方によって変わるものですか。

角 青に変わりはないですが、四国と北海道の色は違います。でもそれは作る人の気持が違うからだと思います。久留目絨は黒に近い紺ですし、伊予絨の紺も少し違う。又、京都の青も違います。しかしそれは、藍が違うのではなくて、染める人が美しいと思う、その好みの色に自然に近づいていくからです。私は明るい青が好きですからどうしてもそちらの色に近づきます。だから長い間藍染めを続けていると、結果的に他の人とは違う自分の色だと気がつきますし、他の人からも同じことを言われます。藍に出合う時

間と引き上げて空気にふれる時間の差で色は変わってきます。そして素材によっても色は変わります。ウール、絹、木綿、麻と違いますし、絹でもうるさい人は糸の断面の型にまで注文をつけます。皆さんこだわっている部分がそれぞれ違うので、同じ藍をやっている、青ですけれど全然違う青になります。

■インテリアにもっと藍を

湯上 藍染めに対するこれからのお考えや希望をお聞かせ下さい。

角 道内でももう少し藍染めが使われるようになれば良いと思います。むしろ反響はヨーロッパの方が大きいのです。2年に1度スイスでビエンナーレがあり、世界中から約1000組が出品し無記名審査で20名位が選ばれます。私も2回落ちましたが、フランスでは大反響でした。いっそフランスに行ったらどうかと言う人もおりますが、でも向うに行くのは次の作品へのステップのためです。ヨーロッパの人はいろんなことを言ってくれて、本気で質問してきますから、大きな刺激になり意識を高めてくれます。でも本当に使って欲しいのは道内です。

湯上 素材で自然な藍染めは建築空間に映えますね。

角 もっともっとインテリアに使って欲しいのです。木の壁とかレンガやしっくい自然な素材の壁には実に良く調和します。

湯上 本日は本当に有難うございました。すばらしい御活躍を期待します。

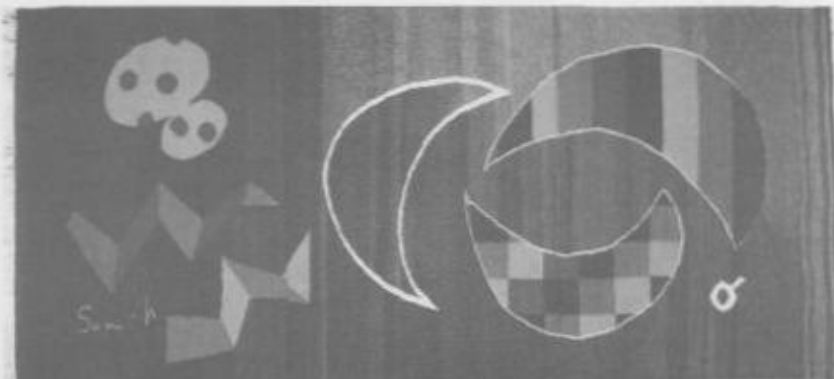
聞き手：湯上剛志

- 北海道インテリアプランナー協会
- 柳竹中工務店北海道支店設計部長



角 敏寛・寿子

略歴
1980—染織活動開始（広島市）
1984—北の藍染織工房設立（毎年個展）
1988.6—長沼町アトリエハウス入居（〜'90.11）
1989.4—布の意志「コスモス」発表
1990.4—ガラスと織の造形「Love Wind」出品（東京）
1990.7—16m タペストリー「TERRE」プロジェクト開始
1991.9—パリ個展（9.28—10.12）



風が見たもの—森の話（1,500×350）

インテリアプランナーの社会的地位の確立と、インテリアの質的向上を目指してスタートした北海道インテリアプランナー協会も、第一回総会以来丸1年が経過しました。そこで情報委員会として、第2回総会を迎えるにあたり会長以下各委員長にお集りいただき、一年間の活動を振り返り、今後の展開について語っていただきました。



湯上 各委員長の皆さんに1年間の活動の報告と今後の課題についてお話しいたしますが、最初に会長より活動を総括していただきたいと思います。

杉山<活動の総括>

財政基盤の未だ弱い会の活動として、すべり出しとしては良かったのではないかと考えております。しかし、会員の皆さんに情報は伝わっていますが、その反応を確かめるに至っていないのも事実です。特に地方の会員の皆さんにも参加できる、情報の一方通行にならない活動を大切にしたいと考えます。又インテリアプランナー制度が一般の方に十分に浸透しているとは言えません。制度そのものに対する将来展望を持った活動を続けたいと思います。

木樽<事業委員会>

○見学会—ホテルシリーズ5回実施
設計者の説明があり有意義でした。次年度は設計者との対話形式にし更に有意義な会としたい。又、毎回30名程度しか参加がありません。PRの方法も検討する必要があります。

○インテリア展
「空間を考える」をテーマに行ない好評でした。次回は「光と色」をテーマに、もう少しアクション性のある企画で実施する予定です。

○IP受験研究会—受験者対象2回実施
一次・二次試験用にそれぞれ実施しました。特に二次試験研修会では20名参加し、内15名が合格し全員の合格率を実現しました。

中<交流委員会>

○交流会—北海道インテリア卸協議会
2回実施（5月・10月）
北海道林産試験場交流会
○会員研修会—「茶室の話あれこれ」
全般的に地方の会員の参加が少なく、PRの工夫が必要です。アンケートも行

いましたが、回答が少なすぎて成果を出すに至りませんでした。今年も再度実施の予定です。

○92インテリアプランニング賞受賞作品展(3月)
有意義な作品展でした。今後も積極的に開催を考えており、次年度はインテリア業者展を3回実施予定です。

山田<総務委員会>

○財政強化
協会の財政基盤を安定させるうえでも会員の増強が重要な問題で、今後も増強

暗中模索の状態ですが、告示1206号をもとにして4月をめどに中間発表をしたい。それを元に会員の検討をいただきますので、もう暫くの時間が必要です。

一宮<事務局>

○月報「インテリアプランナー通信」
幹事会・各委員会の活動を報告してきました。

こんなに予算のない協会は初めてです。委員会活動も時間・費用共に委員個人の負担におっているのが現状です。財政が確立しなければいい活動は出来ないと思います。そのためには売れる雑誌の発行、インテリアに関する仕事の紹介、受験参考書の発行等協会の収入につながる事業を考える必要があると思います。

顔写真説明左より

会長	杉山宗英	専門委員長	高倉 毅
事業委員長	木樽 博	事務局長	一宮忠雄
交流委員長(代理)	中 恵子	情報委員長	湯上剛志
総務委員長	山田新二		(同 会)



のための活動を強化したい。しかし、そのためには会員の参加意識をどのような手段で高めるかが課題になります。

○事業予算と決算

本年度は予算総額の中で順当に各事業を行なうことが出来ました。しかし次年度からは各事業毎に予算と決算に整理します。

湯上<情報委員会>

○IPニュース—4回発行
特別企画として「北海道の地域に根づく工芸」をテーマに連載しましたが、次年度も続ける予定です。

「会員紹介」と「IP実施例」では会員参加を意識しています。しかし今後は会員増加と事業費の面から、配布先と広告掲載を検討課題としたい。

高倉<報酬規定専門委員会>

4人のメンバーで月に1度の会合を重ねて来ました。業務内容の価値をどのように認めさせるか、価値に対する評価能力をクライアントが持っているか、報酬算出方式の客観性は何か等課題が多く、

湯上 次にこれから私達の活動を展望するうえで多くの課題があります。一宮局長が発言なさったように財政も大切な課題の一つです。財政問題も含め、その他の課題について御意見をお聞かせ下さい。

■協会の財政と登録更新について

湯上 今年インテリアプランナー（以降IPと略）の登録更新がありました。更新手数料を払いましたが、それは全く当協会とは関係なく、従って協会の収入にはなっていません。そこにも不合理な問題が有るのではないのでしょうか。

一宮 たしかに更新手続きを当協会に一任して頂くと、いくらかの収入は期待できると思います。

木樽 あの更新手数料はかなり高額だし使い途を知りたいですね。私達は少なからずIPの資質向上の運動をしている訳で、しかも全国初の協会だとすれば私達幹部は行政サイドに対し、知る義務を怠ったのではないかと思います。しかも資格を取っていても雑誌一冊送ってくる訳でもなく今回いきなり書類を送ってきた

ら、何月何日迄に更新手数料を納めないと全く一方通行です。だから更新手数料の半分位は、これだけ運動している協会に持ってきてしかるべきだと思います。杉山 本当はそれが実現できれば一番良いと思います。しかし今のところIP協会があるのは北海道だけです。各都道府県に協会ができれば何らかの統一行動が出来ると思いますが、まだ1ヶ所だけです。北海道だけに何かを与えることは無理かなと考えています。

一宮 心配なのは、今回の更新を機会に更新手続きをしない人が出るのではないかとということです。

木樽 更新手続きをしない人が増えると思います。現実に私の会社でも建築士の資格があれば、どちらもできるんだから更新しないという人が多い。会社は資格を取れというが、登録料をとられてメリットが無ければ更新は考えなおさざるを得ない。

高倉 最近、一級施工管理技士の更新の案内がきましたが、更新手数料はIPより安く講習も義務づけられていない。更新の講習を有料でやるのは資金源を考えているのでしょうか。



●IPの社会的認知について

一宮 行政サイドの思わくとして、希少価値を上げるために、なるべくIPの数を減らしたいという意向があるのではないのでしょうか。

木樽 それは社会的な制度の裏付けと、認知があった上でのごことであって、今のままでは減らしても希少価値は無く、先細りになるだけです。

中 最初にIPの資格者を沢山作って、後のことは考えていないというのをおかしいですね。北海道だけでも対応をしっかり考えておかないとならないと思います。全国的に更新者が少なくなっていくだろうと想像出来ます。

木樽 ここまできたら行政サイドなり、あるいは建設省、通産省と渡りあう必要があります。IPをどう考えるのか、インテリアコーディネーター（以降ICと略）をどう考えるのか、社会的な運動

として解決していかなければIPのレベルアップにはならないでしょうね。

杉山 建築士もIPも建設者が作った資格ですから、本来なら建築基準法あるいは建築士法の中で、それぞれの分野を決める法改正を行うべきなのです。それを建設者がやらないということは、IPの資格とは何だと言うことになります。

もともと建設省はデザインに対する資格は、建築士の資格とぶつかるから、あらためて作る必要がないと言っていました。ところが、ICの資格を通産省が先に認可したので建設省があわててIP制度を作ったという経緯があります。ICが先に生れて、インテリアデザインはICがするのだと一般の人が思ったものだから、いや、それはうちの縄張りですと建設省があわてて本音とは違いつつ作ったのです。

木樽 経緯はそうであっても、将来基準法が変り、IPの活動分野が明確になるのであれば、今は我慢しなさいということが出来るし、一生懸命資格をとる人も出るでしょう。やはり大きな課題として扱わなければなりませんね。

●会員の意識について

木樽 新年度になって、どの位の人が入会してくれるかがポイントですね。

高倉 資格は持っているが、入会していない人は大勢います。

山田 北海道でIP資格者約900名の内会員は約170名で加入率は2割弱です。しかし参加意識の問題になると、具体例として、顔写真を送って下さいとお願いしてから半年以上たちますが、集まりは悪い状態です。入会してから全く反応を示してくれない人が過半数です。別の資格を持っていて、その資格があれば良いと考えているのかもしれませんが。湯上 しかし、建築士会や事務所協会の他の会の入会率もそんなに高くはないと思います。3割もいってないのではないのでしょうか。

杉山 IPの約7割が建築士の有資格者ですから、他の会にも入会していると考えられます。その点を見ると、2割の入会率が高いと考えます。何も活動していない時に加入していただいた訳ですから、協会に興味を抱いていると思います。しかし、建築士の資格を持った7割の人がどうして当協会に入ったのかが読めない状態にあります。インテリア專業の人とは違う意識があると思います。



●IP資格のメリットについて

高倉 IPにしてもICにしても、国が無責任に作った資格だと思います。建築士であれば法律的にその職能が謳われています。IPの場合はそれが無い。IP自身、何をしたら良いのかさえ判らない人が多いと思います。

山田 私が調べたところでは、リフォームローンでしかIPの資格は適用になりません。特別加算として今年から100万円から200万円に増えました。その範囲内でインテリア融資が受けられる訳ですが、対象となるのは、収納家具、ベッド、照明器具、敷き込みジュタン等のごく限られたものなのです。しかし、これらは本来本体工事に含まれる筈です。誰でも借りることのできる特別加算の範囲にインテリア融資があるのは理解しにくい点ですし、有名無実の感もあります。通産省のむこうをはって、ICに無いものを無理に作らなければならない。それがこの住宅金融制度のインテリア融資だったのではないのでしょうか。

杉山 確かに、今IPに与えられているメリットといえるのは、住宅金融制度だけです。その意味で、北海道の当協会は訴えかけを行政サイドにしなくてはならない。そして少しでもIPのメリットを広げていかなければなりません。

木樽 役員・幹事会がその方向で一貫して行動すべきです。そして各委員会も、それぞれの役割りを分担して活動しなくてはならないと思います。

杉山 対内的には会員の皆さんの利益をどうやって見つけていくかという事、そして対外的には行政サイド、建設省に対して私達の職能を広げる運動をしつこく続けること、これが大切だと思います。

高倉 そして具体的には、私達の行動を通して会員が増えていかないと、会そのものの存在意味がなくなります。

湯上 本日は長い時間、どうもありがとうございました。

今回、会員紹介(プロフィール)は紙面の都合で1回休ませてもらいます。ご諒承下さい。

帯広市近郊の高台にある閑静な住宅地に建つ住宅で、木造（2×4工法）2階建、延床面積50坪に6人家族が住む。

間仕切壁を極力なくし、オープンスペースを平面的、立体的に考慮する事によって開放感やゆとりが生まれる。色彩的には、ナチュラルな木の色とアイボリー系で統一され、一部にブラック、グリーンが使われている。熱交換暖房システムを採用している。床は、フローリング（ナラのムク材）がほとんどで、水廻りはコルク調のCFシート貼。天井と壁にはポイントとしてカナダ杉貼を使い、その他の壁は織物調でアイボリー色のソフトなビニールクロス貼としている。建具にはカナダ杉のドア、アイボリー色のハードボードアを、枠材には木の集成材を採用しナチュラルな木を多く使用している。

●ホール・階段

初めての来訪者がドアを開けると、正面にシンプルなデザインの木の階段、床には懐かしいフローリング、そして右側には古びたレンガに深緑色のマキストープがどっしりと構え、音と共に炎がゆれて見える。また空間が吹抜けになっている事と柔らかい灯りの為に思わず上の方を見上げてしまう。そんな、瞬時のエキサイティングでドラマチックな感じを表現した。

●リビング・ダイニング

ホール、階段とはオープンにつながっていて境界の下り壁にカナダ杉の鳥の模様が吊られている。天井、壁共にカナダ杉貼で、床はフローリング貼。南に出窓、東に小窓が3ヶ所有り、朝食時には朝日が一杯に入り明るくて気持ちが良い。

●キッチン

造付I型L=2,600の天板はコーリアンとし、米松パネルを採用。ダイニングと反対側に脱衣室があり、その奥がホール、階段とつながっていて、この動線は機能上喜ばれている。キッチン上部吹抜けには天窓が設けてあるため明るく、2階廊下の窓を開けると会話も出来る。壁の一部は150角タイル貼、床はコルク調のCFシート貼。

●脱衣室

毎日朝シャンをする奥様のために、造り付のシャワー付洗面台を設置。L型の大カガミ付で、天板にコーリアンを採用。



ホール、階段
(2F窓下部がキッチン)



リビング



ホール、階段(手前リビング)

■賛助会員紹介

株式会社 ほくでんライフシステム

所 長 藤田 早苗 オール電化住宅総合展示場
担 当 者 藤田 早苗 デイパウン
〒064 札幌市中央区南8条西22丁目 TEL.011-552-1447
FAX.011-552-1440

トーソー株式会社 札幌支店

支 店 長 岡田 康男 カーテンレール、ブラインド
担 当 者 大塩 浩司 ロールスクリーン
〒003 札幌市白石区中央2条3丁目 TEL.011-841-3731
3-10 FAX.011-841-9926

株式会社 ニチベイ北海道営業所

所 長 福田 功 密まわりの装飾品
担 当 者 福田 功
〒003 札幌市白石区中央3条6丁目 TEL.011-861-9688
2-1 FAX.011-861-8529

学校法人美術学園 北海道総合美術専門学校

理 事 長 高橋 英雄
担 当 者 阪中 雅範
〒001 札幌市北区北27条西8丁目 TEL.011-756-0777
FAX.011-717-6949

株式会社 フジテキスタイルエンタプライズ

代表取締役 富士栄良治 インテリアファブリック
荒井善太郎 の販売
担 当 者 荒井 光一
〒060 札幌市中央区南2条西10丁目 TEL.011-281-5310
アラゼンビル FAX.011-281-5340

専修専門学校 北海道デザイナー専門学校

理 事 長 杉原 輝美
担 当 者 小山 幸彦
〒001 札幌市北区北18条西3丁目 TEL.011-746-9301
FAX.011-746-9334

IP合格者 発表

平成4年度インテリアプランナー 資格試験の合格者発表が 3月17日にありました。

■平成4年度インテリアプランナー資格試験の結果は1,357人の方が受験、264人が合格し最終合格率は19.5%でした。

当協会では、試験に先立ち平成4年9月12日に第1回研修会(学科)、平成5年1月10日に第2回研修会(製図:近代洋風建築を利用した音楽ライブラリーのインテリア)を、協会員の中から講師を選任し開催しました。

第1回は60名、第2回は20名と多数の方が受講されました。

2次試験北海道分の合格率は、受験者33人に対して合格者は18人で54.5%と全国一の合格率でした。(全国平均30.9%)合格者の内、協会研修会受講者が15名の高合格率でした。

■合格者にインタビュー

合格者で協会研修会受講者の河野嘉さんにインタビューしました。

“合格おめでとうございます。試験

に合格され、これからインテリアプランナーとして御活躍される訳ですが、資格を取得した理由、受講の感想、これからの抱負などを一言お願いします。”

□自分のインテリアに関する力がどれくらいあるのか試したかったです。

設計事務所で仕事をしているとどうしてもインテリアとの兼ね合いが出て来ますが、今までは建築の一部として、それなりにやっていると云うのが実感でした。最近のインテリア・商業建築雑誌等で見える作品には目を見張るばかりで、もっと専門的な知識をつけたいと思いました。

製図講習を受講しましたが内容はとても分かりやすく、講師の方々個別にポイントを教えてくれましたので実際の試験のときに、とても助かりました。

これからは、公的に認定されたインテリア設計のプロフェッショナルとして、より一層勉強をし、あらゆる場面でのインテリアを創造してみたいですね。



河野 嘉さん(株創建社)

協会にも是非参加させていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

■合格者

森 信博	佐々木幸也
岡部 茂	飯田 誠
濱村あさ子	大槻 恒世
前川 新一	大槻 正敏
岡部 伸一	真柄 道子
福屋 修司	庭田 謙
三宅 庸介	鶴岡 重彦
藤田 哲也	藤平 美徳
小平 純一	河野 嘉

■札幌広島プリンスホテル

見学会報告

毎回好評を得ているホテル見学会です。バブルが崩壊したとはいえ様々な工夫を凝らしたホテルのオープンが相次いでいますが、今回は、自然と都市機能がうまく調和したリゾートホテルとして、根強いファン層をもつ広島プリンスホテルに照準が向けられました。

当日は篠竹中工務店北海道支店の湯上剛志氏より、設計のコンセプト紹介と、ホテル案内をいただきました。「白い闇」をテーマとし、自然が通りぬけ



最上階、クリスタルな空間

るような透明感のある空間を意識しており、建物から四方に開放されたロケーションは自然のスケール感をこわすことなく広がり、陽光を浴びながらスポーツを楽しむことのできる、リゾートならではの基本的コンセプトに、感銘を受けます。

風格を漂わせるロビーの壁面にはナチュラルな色の石材を多用し、それらにマッチさせたアクセントカラーの手法や客室のオリジナルな木の家具デザインや明るい色調には、北国の色彩背景が計算されています。

さらに、機能的なデザインから生み出された間接照明には、ふんわりと温かい光の屈折が細部にまで施され、大人のエスプリが感じられる、粋な演出になっています。

社会の成熟を映す鏡として「ホテル」は、大きな役割を担うといわれます。利用動機につながるソフト面の大切さと、ホテルを通して、ニーズの吟味は日々研鑽すべきものであることを感じた、満足度の高い見学会でした。

★インフォメーション

- IPニュース実施例募集中/
自薦・他薦を問いません。どしどし御電話下さい。
- 今回IP合格者の中でお知り合いの方がいらっしゃいましたら、是非入会をおすすめ下さい。お願いします。
- 会員紹介に載せますので、まだの方は顔写真を送って下さい。(5×5cm)

◎編集後記

4月、いよいよ桜の季節を迎え、IP協会の活動も丸1年が経ちました。さまざまな方々とお会いでき、有意義で充実した1年でした。

発行日 1993年4月
 発行者 北海道インテリアプランナー協会
 〒062 札幌市豊平区平岸6条10丁目1-58-414
 北国の住友・相談所内
 TEL(011)232-6761 FAX(011)232-6762
 編集 北海道インテリアプランナー協会
 情報委員会
 印刷 株式会社 須田製版